

2022年3月9日

## **ポリプラスチックス(株) 軽量化と機械強度を両立：環境にやさしいバイオ材 PLASTRON<sup>®</sup> LFT長繊維セルロース強化熱可塑性樹脂の記事をWEBサイトに公開**

ポリプラスチックス株式会社(本社：東京都港区、代表取締役：塩飽 俊雄、以下、ポリプラスチックス)は、このほど「軽量化と機械強度を両立：環境にやさしいバイオ材 PLASTRON<sup>®</sup> LFT 長繊維セルロース強化熱可塑性樹脂」を自社サイトに公開しました。

▼ポリプラスチックス株式会社公式サイト

<https://www.polyplastics-global.com/jp/>

▼軽量化と機械強度を両立：環境にやさしいバイオ材

PLASTRON<sup>®</sup> LFT 長繊維セルロース強化熱可塑性樹脂

<http://www.polyplastics-global.com/jp/approach/10.html>

### ■今回の記事公開の意図

PLASTRON<sup>®</sup> LFT 長繊維セルロース強化熱可塑性樹脂は、サステナブル性と機械強度を両立した製品です。木や草などの植物に含まれるセルロースは二酸化炭素(CO<sub>2</sub>)排出量削減効果が期待できる素材です。

これを樹脂の補強材として使用する場合、天然のままでは短繊維のため強度が不十分となります。そこで長繊維の再生セルロース<sup>※1</sup>を使用し、物性バランスに優れた製品を開発しました。お客様の「バイオ材を使用したいけれど機械強度は譲れない」というご要望にお応えする製品です。本文ではグラフを用いて物性データを詳しくご紹介しています。

※1 天然のセルロースを湿式紡糸により連続繊維として取り出したもの(Regenerated Cellulose)

### ■CO<sub>2</sub>低減に加え、廃棄物削減を目指す製品開発への取り組み

セルロースは非常に溶媒に溶けにくいいため、多くの再生セルロース繊維は長く煩雑なプロセスで製造されています。このプロセスをシンプルにすることで更にCO<sub>2</sub>の削減が見込めるため、シンプルな製造工程である「溶剤法」を用いた再生セルロース長繊維材料を開発中です。

\*PLASTRON<sup>®</sup>、プラストロン<sup>®</sup>は、株式会社ダイセルが日本その他の国で保有している登録商標です。

## ■今後の展開

ポリプラスチックスはエンジニアリングプラスチックの素材メーカーです。素材メーカーならではの材料技術のみならず、成形・加工技術の開発にも積極的に取り組んでいます。引き続き市場のニーズや用途に応じたグレードをお客様に提供できるよう、開発を進めてまいります。今後も弊社の材料情報や設計技術について、引き続き自社サイトに公開していく予定です。

## ■会社概要

商号 : ポリプラスチックス株式会社  
代表者 : 代表取締役 塩飽 俊雄  
所在地 : 〒108-8280  
東京都港区港南二丁目 18 番 1 号 JR 品川イーストビル 13 階  
設立 : 1964 年 5 月  
事業内容 : 各種ポリマー及びプラスチック等の製造販売  
資本金 : 30 億円

## ■本件に関するお問い合わせ先

企業名 : ポリプラスチックス株式会社  
担当者名 : 相羽、樋口  
TEL : 03-6711-8607  
Email : [ppc-info@polyplastics.com](mailto:ppc-info@polyplastics.com)

以上